



国立病院機構(NHO)宇都宮病院広報誌

わかあゆ

WAKA-AYU



基本理念

私たちは、地域から強く信頼される病院を目指します
そのために、誠実で前向きで勤勉であるよう努めます

目次

20 **冬** 18
第46号
広報誌／年4回発行
発行：国立病院機構 宇都宮病院
発行日：平成 30年1月1日
発行責任者：沼 尾 利 郎

■ 新年のご挨拶	1	■ 出前講座(看護部)	4
■ 吸入薬を正しく使おう	2	■ 出前講座(薬剤部)	4
■ リハビリテーション科研修会を実施して	2	■ 第71回国立病院総合医学会(北4病棟)	5
■ 医療安全研修	3	■ 第71回国立病院総合医学会(西1病棟)	5
■ 院内感染防止対策研修	3	■ 第6回 連携医大会	6
		■ クリスマスコンサート	6

新年のご挨拶

— 地域包括と地域共生 —

院長 沼尾 利郎

あけましておめでとうございます。皆様のご健康とご多幸を心からお祈りいたします。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、昨年は当院にとって大きな試練の年でした。4月には一部の診療科で医師が大幅に入れ替わり、患者数が一時的に減少しましたがその後は例年通りに回復しています。一方、放射線科の常勤医師が赴任して画像診断の質は大幅に向上し、内科では待望のリウマチ膠原病外来が開設されました。今後はDPC（包括医療費支払い制度）や臨床評価指標などを活用し、医療の質の向上や経営の改善・効率化による全面建替の実現が当面の大きな目標です。

ところで、私と同じ日光出身で高校の先輩でもある入江観（1935 - ）の個展を観る機会が昨年ありました（小杉放庵記念日光美術館）。茅ヶ崎在住の入江の絵は広く青い空や彼方に見える水平線が印象的ですが、山に囲まれた日光で生まれ育った彼は大人になるまで地平線を見たことがなく、水平線に対するあこがれがあったと言います。青年時代にヨーロッパへ留学した入江でしたが帰国後は日本の風景が美しく見えず、長いスランプの後に到達したのが「何の変哲もない取るに足らないところにどれだけのものが見えるか（感じられるか）が絵描きの勝負だ」という心境でした。つまり、入江にとっての風景画とは描く動機と出会うことでもあったのです。先の見えない現代の社会情勢や医療環境ですが、描く動機を探し続ける入江のように変わり続ける動機と将来の医療のあるべき姿をしっかりと持ちながら、時代や社会の変化に対応して挑戦し続けることが今の当院には求められています。

さて今年は戌年（イヌ年）ですが、前向きに地道な努力を重ねることが出来るかどうかで新たな価値が成長するか枯れてしまうか、運気が大きく変わるようです。時代がどんなに変わろう

とも、私たちがなすべきことは変わりません。地域との連携をより一層推進させながら、治らない病気や重い障害があっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしが続けられる「地域包括ケア」の構築と、高齢者や障害者など全ての住民が相互に支え合いながら暮らしや生きがいを創り高め合う「地域共生社会」の実現を目指して努力いたしますので、本年も皆様のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。



晴天静流（2017年）入江 観



吸入薬を正しく使おう

薬剤部 永江 朋子

吸入薬とは薬を口から吸い込んで、気管支や肺に直接作用させる薬です。飲み薬よりも少ない量で効きめが出て、全身への副作用が少ないという特徴があります。

吸入薬は気管支喘息や慢性閉塞性肺疾患（COPD）などの気道の病気の治療に使います。激しい咳や息苦しさなどの「発作を抑える」目的のものと「発作を予防する」目的のものの2種類があります。予防として処方されている吸入薬は発作症状がなくても決まった回数を毎日継続して吸入することが大切です。

昨今、様々な種類の吸入器が出ており、より個人に合った吸入器が選べるようになりました。その反面、時に多くの種類の吸入器を使用する際、吸入器ごとに操作が少しずつ異なるという欠点もあります。



様々な吸入器

吸入薬はたいへん有用な治療法ですが、正しい使い方をして確実に吸入できないと効果が期待できません。有効で安全な吸入治療を行うため、当院では吸入指導依頼書を用いて、病院と地域の調剤薬局の間で治療に必要な情報を交換・共有し、患者さんを中心に連携する取り組みを行っています。書面による同意や負担金増（保険種別に応じて月1回、20～60円程度）がありますが、よりきめ細やかな治療につながりますので活用してみてください。

～リハビリテーション科研修会を実施して～

リハビリテーション科 理学療法士 鈴木 裕介・佐野 昇太・作業療法士 信田 高 祥

当科では、患者さんに有意義なリハビリテーションを提供できるよう、新人向けに毎月1テーマを決め研修会を行っています。緊急時の対応方法など基礎的な内容から、運動強度の考え方、手術後早期離床の際に注意する点などの実践的な内容を取り入れています。

12月は介護保険制度についての研修を行いました。病院では医療保険、在宅生活へ復帰されると同時にデイケア・デイサービスの利用、訪問看護の利用をする際には介護保険が適応になります。そして来年は介護保険の3年に1度の改訂の年です。現在、全国的に新規で介護保険の申請から認定結果通知が届くまで約1か月を要しています。そこで、更新認定の有効期間のさらなる延長、審査の簡素化などの対策がされる方針で審議がされています。地域ケアシステム構築がすすむにあたり、申請から認定までの期間の短縮が見込まれます。患者さんを取り巻く環境について知識を深め、質の高いリハビリテーションを提供出来るよう日々、努力していきたいと思います。



研修会の様子



医療安全研修 一次救命処置 ～質の高い蘇生法を学ぶ～

医療安全管理室 医療安全管理係長 山口 ふ き 江

医療安全管理室では、安全な医療の提供を目的に、全職員を対象とした研修を企画、運営しています。昨年度は「職員みんなでやる救命処置」を行い、今年度は「質」を重視した蘇生法の研修会を開催しましたので、その様子をご紹介します。

まず、4つのブースでひとつひとつの蘇生法の技術を高めました。

人工呼吸法



胸骨圧迫法



胸骨圧迫→ADE 装着→ショック→胸骨圧迫



人工呼吸法&胸骨圧迫法



技術演習終了後、増田典弘統括診療部長兼医療安全管理室長により講義を受け、一次救命処置の知識の確認と、院内急変時の緊急コール体制について、再度共通認識することができました。参加した職員から、「くり返し練習することが必要」との意見が多く聞かれました。今後も、救急蘇生チームを中心に定期的に研修を開催しスキルアップを図りながら、医療の質の向上とチーム医療の充実につなげていきたいと考えます。

平成29年度 院内感染防止対策小委員会 全職員対象研修 ～季節性インフルエンザを持ち込まない! 絶対拡げない!～

感染管理副看護師長 齋 藤 恵 子

毎年、11月を過ぎると季節性インフルエンザの流行時期に突入します。

院内感染防止対策委員会では、インフルエンザの感染拡大防止を目的として、全職員対象研修を11月17日、12月15日に開催しました。内容は「①インフルエンザを知ろう、②感染の拡がり方を知ろう、③感染拡大の影響を考えよう、④感染を拡げないための対策を知ろう」です。

研修では、「自分がインフルエンザにかからないための対策」だけでなく、「人にうつさないための対策(咳エチケット)」についても説明しました。みなさんも「風邪かな?」と思ったら、以下の3つのエチケットをお願いいたします。「①咳・くしゃみの際はティッシュなどで口と鼻を押さえ、他の人から顔をそむけ1m以上離れる。②鼻汁・痰などを含んだティッシュをすぐにフタ付きのごみ箱に捨てる。③咳をしている人に正しいマスクの着用(鼻からアゴまで覆う)を促す。」

当院では、入院患者さんをインフルエンザの感染から守るために、インフルエンザの流行時期に外来を受診される方、面会の方にマスクの着用をお願いしております。あらかじめ準備されなかった方は、正面玄関の自動販売機、売店でも準備しておりますので、マスク着用にご協力をお願いいたします。





出前講座 「にこにこクラブの皆さんと健康増進体操！」

皮膚・排泄ケア認定看護師 土田 桂子



みなさん、チェックできましたか？

平成 29 年 11 月 8 日、宇都宮市（旧河内町）の稚ヶ坂第一公民館で出前講座をさせていただきました。今回は、「誰にも内緒の・・・尿漏れのおはなし」と題し、加齢によって多くなっていく尿漏れを改善して、イキイキ明るい生活を送ることをテーマに行いました。排尿のトラブルについて仕組みを説明した後は、参加者全員に過活動膀胱（膀胱が過敏になり反応してしまう状態）をチェックし、最後に骨盤底筋訓練（骨盤や内臓を支えている筋肉を鍛える体操）を行いました。にこにこクラブの皆さんはとても明るく元気な方ばかりで、楽しい時間を過ごせました。私は、地元の小・中学校の出身なのでこれからも地域の皆さんへ健康増進のお手伝いが出来るといいなと思います。



出前講座 「おくすりの正しい使い方」



主任薬剤師 石垣 千絵



出前講座の様子

平成 29 年 11 月 11 日に東下ヶ橋公民館にて出前講座を行いました。朝早い時間でしたが、地域包括支援センターの方も含め総勢 17 名が参加してくださいました。テーマは「おくすりの正しい使い方」ということで、高齢者は、なぜ複数の種類の薬を服用することが多いのか、どのような副作用が起こりやすいのかなどに重点をおき、高齢者が薬を使用する際に気を付けることについてお話をしました。また、お薬手帳の重要性や薬の服用方法・保管方法についてもご理解いただけたと思います。参加者の 9 割の方々は薬を医療機関から処方されており、身近なこととして話を聞いていただけたのではないかと思います。

職員募集中 いつでもご相談に応じます

■ 職 種

（常勤）療養介助職

（休業等代替職員）保育士

（非常勤）看護師（手術室勤務）・看護助手・栄養士

詳細についてはホームページをご確認下さい。

<http://un-hosp.jp/index.html>

■ お問い合わせ

月～金曜日 8:30～17:15 TEL 028-673-2111（庶務係へ）



第71回 国立病院総合医学会に参加して

北4病棟 看護師 加藤 佳代子

平成29年11月10日（金）～11日（土）に、香川県サンポートホール高松、かがわ国際会議場、JRホテル高松、レクザムホール、香川県立ミュージアムの5会場において、第71回国立病院総合医学会が開催されました。

今回私は、「認知症のある患者の対応に対する看護師の性格別ストレス調査」というテーマで発表しました。学会では団魂の世代が後期高齢者となる2025年問題に関連した様々な発表がされていました。ある病院では、認知症サポートチームを発足し、医師・看護師が他職種と連携を図りながら、病院全体で認知症患者へ医療・看護を提供していると発表がありとても興味深く勉強になりました。また、学会に参加したことで、他施設取り組みを知る機会となりました。医療は常に進歩するものであり、経験に加え新しいものに挑戦していくことも大切なことだと思います。今後も今回の研究結果を活かし認知症の看護の学びを深め、チームで協力しながら患者さんに寄り添い思いやりのある看護を実践していきたいと思います。今回、学会発表の機会を与えて下さったこと、またアドバイスや励ましの言葉をいただいた皆様に、心より感謝申し上げます。



第71回 国立病院総合医学会に参加して

西1病棟 看護師 大類 宏香

平成29年11月10日（金）～11月11日（土）に香川県高松市にて第71回国立病院総合医学会が開催されました。

「VTE発生予防における圧迫療法の知識調査～弾性ストッキングとフットケアに焦点を当てて～」というテーマで口演発表させて頂きました。VTE（下肢静脈血栓塞栓症）は、手術時の麻酔による不動や、高齢者・骨折を伴っている患者さんにおいては、血液の流れが悪くなることから発症のリスクが非常に高くなるとされています。

VTE発生予防のために弾性ストッキングを正しく継続使用すること、爪や皮膚トラブルを解消するための看護師の介入が大切です。今回の調査で明らかになった現状を踏まえ、看護師の知識・技術の向上をはかり、患者さんに安全で安楽な看護を提供できるよう努めていきたいです。

また、学会での他施設の発表は興味深い研究が多く、当院での取り組みの参考になりました。貴重な機会を与えてくださり、またアドバイスや励ましの言葉をくださった皆様に心より感謝を申し上げます。



第6回 国立病院機構宇都宮病院連携医大会

地域医療連携室 地域医療支援係 深澤 忠



講演会の様子

平成29年10月26日、第6回国立病院機構宇都宮病院連携医大会が盛大に開催されました。栃木県医師会会長太田照男先生、宇都宮市医師会会長片山辰郎先生、塩谷郡市医師会副会長阿久津博美先生をはじめ、連携医の先生、連携医療機関の関係者の方など、38名のご出席を賜りました。また今回、8名の先生方に初めてご出席頂きましたことは、病診連携においてこの上なく喜ばしい限りであり、この場をお借りいたしまして心より感謝申し上げます。

第1部では、前田消化器内科医長と増田地域医療連携部長から、「消化器科(消化器内科・消化器外科)紹介」と題し講演が行われました。当院での消化器科症例

を、内科と外科の各視点からご紹介することが出来、当院の診療等をより深くご理解頂けたことと思います。

第2部懇親会では、当院医師・看護職員と会食しながら、和やかな雰囲気の中情報交換が行われました。当院が進める「顔の見える連携」がより深まり、とても有意義な時間となりました。

今後も地域医療連携室職員が一丸となり、「顔の見える連携」から更に「心通う連携」を目指し、地域の医療連携に取り組んで参りたいと思います。



懇親会の様子

2017年 クリスマスコンサート

管理課長 河合 公生

毎年恒例のクリスマスコンサートを12月13日(水)午後4時30分から行いました。このコンサートは、クリスマスという日を通して、入院中の患者さんに癒しの時間を提供するために、当院が毎年開催しています。

今年は、フルート&グランドハーブデュオによる演奏で、フルート奏者は安藤真理子さん、グランドハーブ奏者は金井早苗さんに出演していただきました。演奏曲は、おなじみのクリスマスソングからジャズや映画音楽まで幅広く演奏していただき、会場となった外来待合いホールに集まった患者さんや職員も大変楽しいひとときを過ごすことができました。コンサートの最後に、演奏者のお二人に感謝の意を込めて、代表で沼尾院長から花束の贈呈を行いました。

クリスマスコンサートにおいで下さった皆さん、会場設営や患者さんの送迎などで協力いただいた全ての方にお礼申し上げます。



演奏者



会場の様子

編集後記

新しい年が始まりました。まだまだ寒い日が続きます。厳しい季節を乗り切る英気を養うのにオススメなのが、旬の魚介。イカ、カキ、ズワイガニ、シラウオ、アンコウ、イワシ、ニシン、ブリー 海の幸には冬に最盛期を迎えるものがたくさんあります。鍋の美味しい時期ですが、刺身や炙りも捨てがたい・・・などと考えていると、なんだか寒いのも悪くないような気がしてきます。くれぐれも風邪などには気をつけてご自愛なされますよう・・・。

主任栄養士 熊澤 勇介



【冬の湯西川】

表紙撮影：獨協医科大学医学部 写真部 提供

外来診療担当医表

(平成30年1月1日～)

診療科名		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
総合内科	午前			黒崎 史朗	沼尾利郎(第2・4・5週) 志水太郎(3週)	志水 太郎 (第1・2・4・5週)
糖尿病・内分泌内科	午前	佐藤 稔	菊池 朋子	平尾菜々子	佐藤 稔	森 豊
	午後	佐藤 稔		平尾菜々子	佐藤 稔	
神経内科	午前	作田 英樹			伊藤 雅史	
	午後	作田 英樹			伊藤 雅史	
物忘れ外来(午後・予約制)				伊藤 雅史		
消化器内科	午前	常見美佐子	菅谷 洋子	佐久間 文	菅谷 洋子	前田 光徳
	午後	常見美佐子	菅谷 洋子	佐久間 文	菅谷 洋子	前田 光徳
呼吸器内科	午前	沼尾 利郎／ 梅津 貴史	野村 由至 横須賀響子	安西真紀子	梅津 貴史／ 藤松 孝旨	野村 由至／ 池田 直哉
	午後	沼尾 利郎	横須賀響子	安西真紀子	黒崎 史朗／ 藤松 孝旨	池田 直哉
禁煙外来(保険適用) (午後・予約制)					藤松 孝旨	沼尾 利郎
リウマチ膠原病内科				高村 雄太		
小児科	午後		影山さち子 (予防接種) [予約制]		影山さち子 子供療育相談ルーム [予約制](2・4週)	
外科	1 診	増田 典弘	芳賀 紀裕	滝田 純子	増田 典弘	芳賀 紀裕
	2 診	尾形 英生	柴崎 雄太	芳賀 紀裕	尾形 英生	滝田 純子
	3 診					田嶋 公平 (呼吸器外科)
整形外科	1 診	田中 孝昭	茶蘭 昌明	田中 孝昭 (第2・3・4週)	茶蘭昌明(第1・3・5週) 石川義久(第2・4週) (初診のみ)	熊谷 吉夫
	2 診	小牧 宏和		秋山昇士(第1・5週) 茶蘭昌明(第2・4週) 熊谷吉夫(第3週)	小牧 宏和 (第1・3週)	秋山 昇士
リウマチ科 (整形外科1診)				熊谷吉夫(第1・5週) 田中孝昭(第2・3・4週)		
リハビリテーション科				茶蘭 昌明	茶蘭 昌明	熊谷 吉夫
装具外来		田中 孝昭				熊谷 吉夫
側湾症外来					茶蘭昌明(4週)	
障害者歯科						石川 博之

外来受診案内

- 初診及び予約のない方の外来診療受付時間は、8:30～11:00迄です。
緊急で来院される場合は、電話でお問い合わせ下さい。
- 物忘れ外来につきましては、地域医療連携室にて電話での予約を受け付けております。
- 地域医療連携室 TEL 028-673-2374(直通) FAX 028-673-1961(直通)
担当(ソーシャルワーカー)：永山・吉田・福富・高德(内線133)

- 下記は入院患者さんを中心として診療しております。

診療科名		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
循環器内科	午前		田所寿剛(1.3.5週) 伊藤 致(2.4週)	鈴木菜穂子		伊藤 致(2.4週)
	午後	渡邊 諒 (15:00～16:30)	田所寿剛(1.3.5週) 伊藤 致(2.4週)	鈴木菜穂子		伊藤 致(2.4週)
歯科		渡辺 裕子	渡辺 裕子	渡辺 裕子	渡辺 裕子	渡辺 裕子
眼科(午後)						松原 忠之
皮膚科(午後)				權守 隆		
耳鼻咽喉科(午後)		永島 祐美				

- 診療時間は8:30～17:15迄です。
- 休診は土曜日・日曜日・祝日・年末年始(12月29日～1月3日)です。
- 都合により臨時休診になる診療科もありますので、ご確認のうえ、ご来院ください。



独立行政法人(NHO)

国立病院機構 宇都宮病院

〒329-1193 栃木県宇都宮市下岡本町2160

TEL 028-673-2111 FAX 028-673-6148

<http://un-hosp.jp/>